

第2回「兵庫県特定外来生物対策本部会議」 次 第

日時：令和7年12月15日(月)13：15～13：45

場所：兵庫県庁3号館7階大会議室

1. 現在の特定外来生物の発生状況
2. 地域部会の開催状況
3. 今後の取組（案）

【出席者】

	所属・職名等	氏名
本部長	知事	齋藤 元彦
副本部長	副知事	服部 洋平
本部員	農林水産部次長	宮島 康彦
	環境部長	福山 雅章
	土木部長	宇野 文章
	神戸県民センター長	内藤 良介
	阪神南県民センター長	團野 礼子
	阪神北県民局長	小野山 正
	東播磨県民局長	野北 浩三
	北播磨県民局長	成田 徹一
	中播磨県民センター長	井野 健三郎 ※
	西播磨県民局長	城下 隆広 ※
	但馬県民局長	上田 英則 ※
	丹波県民局長	糟谷 浩行 ※
	淡路県民局長	川井 史彦

※：オンライン出席

	所属・職名等
準本部員	総務部・財務部総務課長
	企画部総務課長
	県民生活部総務課長
	危機管理部総務課長
	福祉部総務課長
	保健医療部総務課副課長
	産業労働部総務課長
	まちづくり部総務課長
	企業庁総務課副課長
	病院局企画課副課長
	教育委員会総務課副課長兼班長

(事務局)

	所属・職名等
事務局長	環境部次長
事務局次長	環境部自然鳥獣共生課長
事務局員	環境部自然鳥獣共生課副課長
	環境部自然鳥獣共生課主査
	環境部自然鳥獣共生課主任
	環境部自然鳥獣共生課副主任

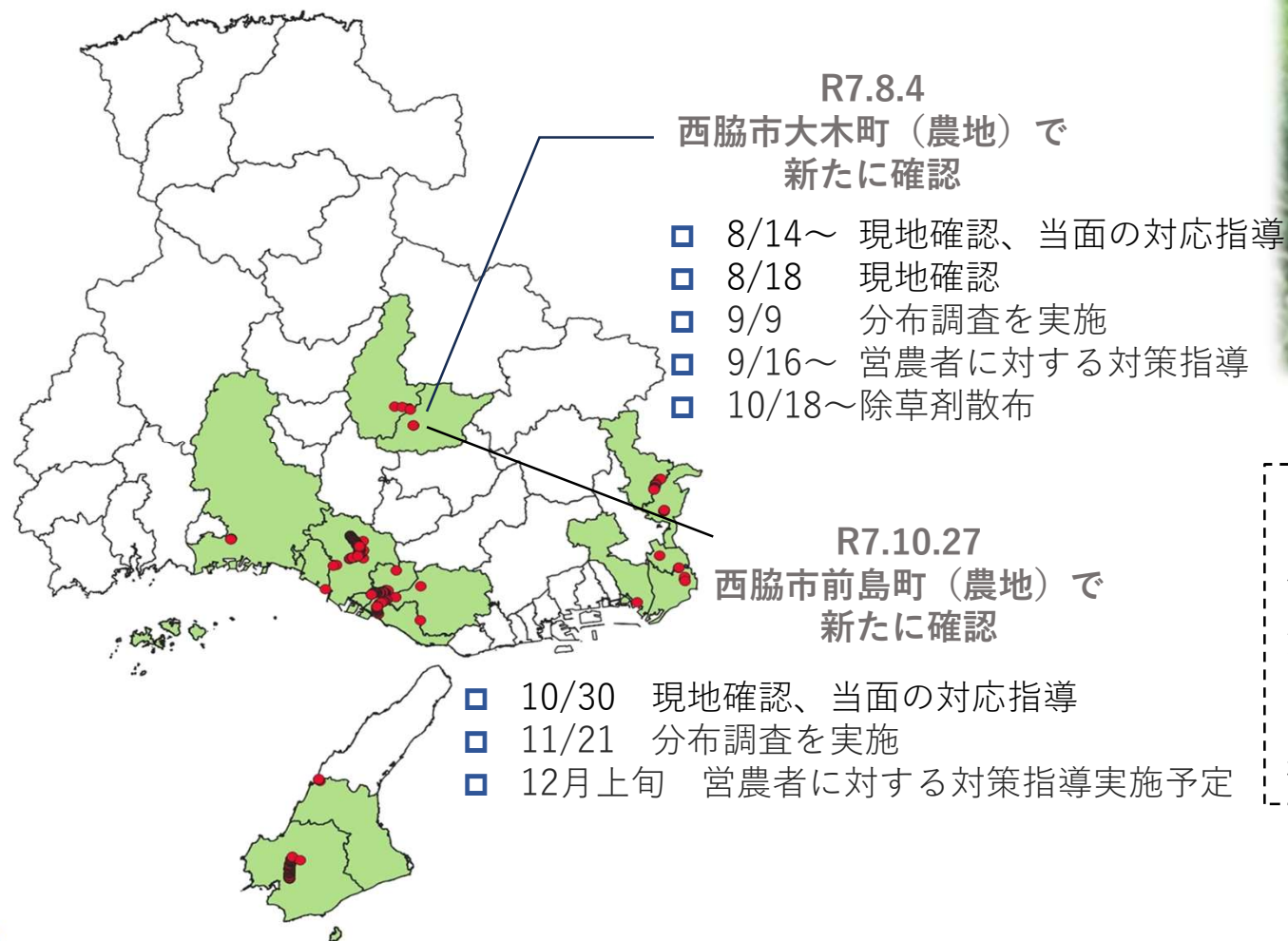
1 現在の特定外来生物の発生状況

ナガエツルノゲイトウの発生状況

- ✓ 県下16市町で確認（第1回会議以降増加なし）
- ✓ 箇所単位では、西脇市内（北播磨県民局管内）の2箇所で確認
- ✓ 根絶に向け取組が進む地域がある一方、下流側での新規発生や河川内の繁茂が残置している箇所あり

県内の発生地域図

緑：発生市町
赤：発生箇所



<発生市町>

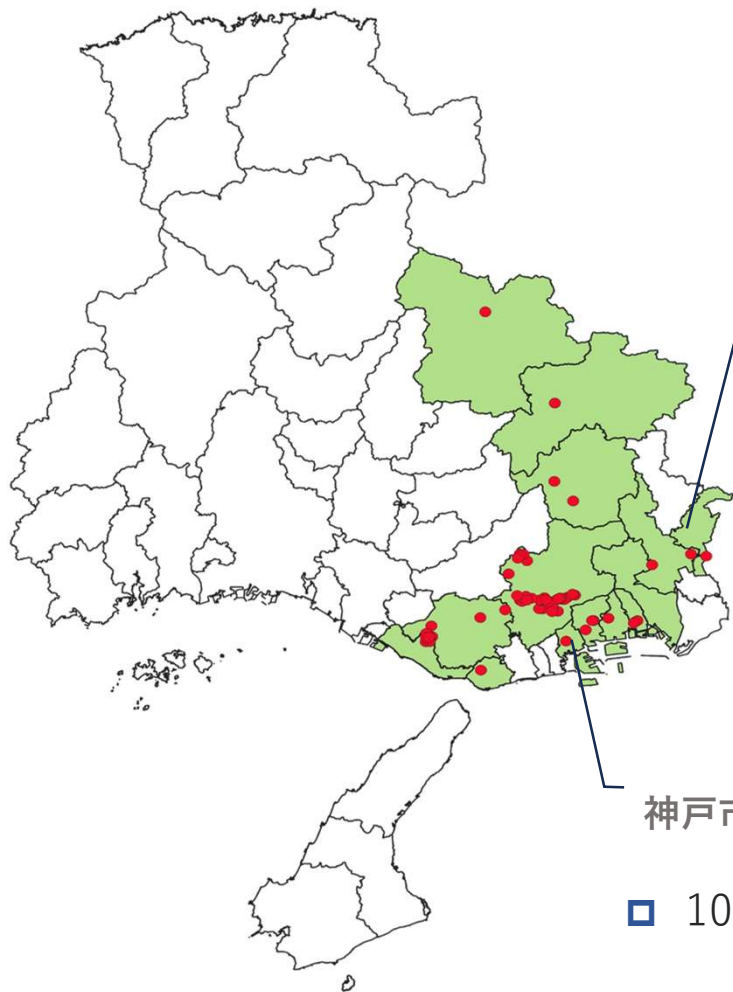
神戸市、姫路市、尼崎市、明石市、西宮市、
洲本市、伊丹市、加古川市、西脇市、
高砂市、川西市、南あわじ市、猪名川町、
稲美町、播磨町、多可町

クビアカツヤカミキリの発生状況

- ✓ 県下9市で確認（第1回会議以降増加なし）
- ✓ 箇所単位では、川西市内の農園や神戸市灘区の民地等で新たにフラスを確認
- ✓ 県内の被害木は9月末現在502本(第1回対策本部時から88本増)となり、現状では被害拡大を一定抑制

県内の発生地域図

緑：発生市町
赤：発生箇所



R7.8.6

巡回調査時に川西市内の
農園でフラスを確認

- 8/20～ 巡回調査及び
当面の対応指導
- 8/29～ 伐採による対策実施



<発生市>

神戸市、明石市、西宮市、芦屋市、宝塚市、
川西市、三田市、丹波篠山市、丹波市

R7.10.17

神戸市灘区内の民地等で
フラスを確認

- 10/27～ 伐採による対策実施

2 地域部会の開催状況

特定外来生物対策地域部会の開催状況①

- ✓ 第1回対策本部会議において、地域の実情を踏まえた取組強化及び地元市町との連携強化のため、地域部会の設置を決定
- ✓ ナガエツルノゲイトウ、クビアカツヤカミキリのどちらも管内で確認されていない2県民局を除きすべての県民局・県民Cで地域部会を設置済み
- ✓ 9月～11月にかけてそれぞれ第1回（ナガエツルノゲイトウが広範囲に分布している東播磨県民局は第2回）を開催し、各地域での関係者間の情報共有、対策の検討等を実施

■第1回対策本部会議における課題と取組案

課 題	必要となる対応	取組案
地元関係者等の意見、実情等を十分に踏まえていない	地域の実情を踏まえた取組の強化	・各県民局等において市町も参画した「特定外来生物対策地域部会」の設置
地元市町との連携が不十分な場合がある	地元市町とのさらなる連携強化	

■地域部会の開催状況

地域	設置日	開催状況	地域	設置日	開催状況
神戸	11/17	11/17	中播磨	10/1	10/17
阪神南	11/7	11/18	西播磨	設置なし(ナガエ・クビアカ発生未確認)	
阪神北	11/12	11/12	但馬	設置なし(ナガエ・クビアカ発生未確認)	
東播磨	8/19	9/11	丹波	9/10	9/10
		10/7	淡路	10/22	10/22
北播磨	10/7	10/7			

特定外来生物対策地域部会の開催状況②

■地域部会における意見・要望内容

項目	ナガエツルノゲイトウ	クビアカツヤカミキリ
共通	<ul style="list-style-type: none"> ・発生状況の迅速な共有 ・今後中長期的・緊急的に防除に取り組むためにも、<u>予算や組織体制の充実が必要</u> ・<u>即効性のある効果的な防除手法の確立が必要</u> ・発生拡大を抑えるためには、県民に対する普及啓発の強化が必要 ・拡大防止に向け、県・市町の連携強化が必要 	
各論	<p>【ため池、農業水路等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在遮光シート等による対策を進めている箇所では、継続的な取組が必要 <p>【河川】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>農業被害を発生させないためには、河川に繁茂しているナガエに対する早期対策が必要</u> <p>【農地】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>発生が確認された農地から他所への拡散防止の観点から、農業関係者に対する支援の拡充が必要</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・被害拡大防止に向け、被害が拡大している府県と隣接している地域では集中的に対策を実施するなど、<u>ケースに応じた対応が必要</u> ・地域で防除を実施する場合、<u>十分な資材の提供が必要不可欠</u> ・職員による対応だけでは効果的な防除実施が困難。<u>外部委託等も含めたマンパワーの充実が必要</u> ・私有地や所有者不明土地で発生した場合の対応方策について検証が必要

3 今後の取組(案)

対応方針

■ナガエツルノゲイトウ

① 各地域で必要となる対策の早期実施

各地域で実施する対策については、地域部会での検討結果に基づき、生態系、農林水産業等への被害が懸念される箇所等、必要となる対策を早期に実施

■クビアカツヤカミキリ

② 防除指針の策定

各地域のケースに応じた対応を推進するため、分布調査を実施の上、防除指針を策定

③ 防除実施にあたっての資材、専門性及びマンパワーの確保

地域における防除対応に必要な資材の配置、職員を対象とした研修実施や専門家派遣、早期対策を実現するため必要なマンパワーを確保

■共通

④ 効果的な防除手法の確立

防除手法の確立のための実証事業の実施

⑤ 地域での防除実施を補完する各種取組の実施

県民からの通報制度の活用促進や、県民ボランティアによるモニタリングの実施、人員体制面の充実等について検討

⑥ 中長期的な対応を可能とする体制確立

特定外来生物対策については、財源や組織・人員面を含め、中長期的な取組が可能となるよう、必要となる規程整備等を実施

【ナガエツルノゲイトウ】

①各地域で必要となる対策の早期実施

令和7年度内の対応

地域部会での検討結果に基づき、河川から農地への侵入の防止や、農地から他所への拡散の防止など、直ちに対策が必要な箇所については、12月補正予算により対応

地域	対策箇所	規模	手法
東播磨	新仏池	2,000㎡	遮光シート敷設
	瀬戸川	2,600㎡	遮光シート敷設
	西川・権現川	3,044㎡	河川内の抜き取り
	喜瀬川	1,348㎡	河川内の抜き取り
北播磨	農地（西脇市等）	125,000㎡	農地内に除草剤散布



西川の繁茂状況



西脇市内の繁茂状況

【ナガエツルノゲイトウ】

①各地域で必要となる対策の早期実施

令和 8 年度の対応

地域部会での検討結果に基づき、令和 8 年度当初予算では新たに遮光シートの設置やオイルフェンス設置などについて対応

○ 地域における防除の実施

地域	対策箇所	規模	手法
東播磨	新川池	50m	オイルフェンス設置等
	寛政池	—	オイルフェンス等メンテナンス
	加古大池	—	遮光シートメンテナンス
北播磨	西脇市野中等	272m ²	遮光シート設置等
	農地（西脇市等）	125,000m ²	農地内に除草剤散布



オイルフェンス設置例

【クビアカツヤカミキリ】

②防除指針の策定

③防除実施のための資材、専門性及びマンパワーの確保

課題	対応案
発生状況の共有と防除指針の策定	・各地域のケースに応じた対応を推進するため、分布調査を実施の上、防除指針を策定
防除資材の県民局等への配置	・地域における防除対応に必要な資材を事前に配備
防除実施にあたっての専門性の確保	・職員を対象とした研修の実施 ・防除にあたっての専門家の派遣 等
防除実施にあたってのマンパワーの充実	・クビアカツヤカミキリの分布が年々拡大している現状を踏まえ、早期対策を実現するため、必要なマンパワーを確保

【共通】

④効果的な防除手法の確立

⑤地域での防除実施を補完する各種取組

○ 実証事業等の実施

地域	対策箇所	手法
神戸 阪神北	神戸市、川西市	果樹園におけるクビアカツヤカミキリ防除体系実証
淡路	南あわじ市志知、松帆等	農業用水路における防除技術実証等
	南あわじ市志知ほか	多毛作地域における除草体系確立等



防草対策施工例

○ 事前の被害予防対策やボランティア制度の創設、職員に対する研修会など、各種取組を実施

事業名	趣旨	取組内容
ひょうご生物多様性シンポジウム	多様な主体による特定外来生物の拡大防止、自然環境保全の取組を推進	県内高校生や大学生、企業、NPO等を対象としたシンポジウムを開催、普及啓発の強化
桜の木を守ろうプロジェクト	サクラやウメ等の名所において、樹木を守るための取組を強化	クビアカツヤカミキリの侵入から守るための事前の被害予防対策を実施
Hyogoクビアカツヤカミキリ見張り隊	クビアカツヤカミキリの早期発見、防除	クビアカツヤカミキリの発見、防除を行うボランティアを登録
県・市町職員対象研修会	県・市町職員の特定外来生物に対する専門的知識の獲得を目指し開催	特定外来生物(特にガエルノゲイトウ、クビアカツヤカミキリ)の見分け方、特性、防除対策等に係る研修

※ 特定外来生物発見通報の推進(通報回数上位者等への通報インセンティブの付与)について、令和8年度以降実施を検討